



# ひろげよう! まちづくりの輪 ~手と手をつなぐ大家族リレー~



まちづくり協議会で汗を流す方の、まちづくりへの参画のきっかけ、想いなどを紹介します。

高取まち協 荒川昭治さんからバトンタッチ!

○吉浜まち協 都築正治さん

(副理事長 兼 防犯グループリーダー)



▲都築正治さん

## ◆都築さんがまちづくりに関わるようになったきっかけを教えてください。

「吉浜こっこパトロール隊」が平成17年12月に発足したとき、入会の誘いがあり、翌年から孫が幼稚園に通うようになることもあり、安全なまちになるための手助けになればとの思いで参加しました。パトロール活動を続けるなか、平成22年度に町内会長を務めているとき、吉浜まち協との連携行事がたくさんあり、地域の役に立ち、まちづくりに少しでも関わればありがたいと思って仲間入りし、平成23年度から現在の役職につき、活動を続けています。



▲非常事態宣言発令中!  
~夜間一斉パトロール~

## ◆防犯は日常的な地道な活動が多いですね。

防犯活動は少人数では効果があがりません。大勢の人が根気よく、地道に継続してこそだと警察によく聞きます。泥棒は、顔を見られたり、声をかけられたりすることを嫌うため、「みんながあいさつする」ことを活動の基本としています。パトロール活動としては、青パトで昼間週3回、夜間週2回、深夜月2回のほか環境美化をかねた徒歩パトロールや小学校、幼稚園・保育園のパトロールを月1回実施しており、昼夜掛け持ちの方もいますが、延べ169人で活動しています。町内会や各種団体の方々も自主的にパトロールを行っており、嬉しいかぎりです。皆さんに感謝しています。また、啓発活動として、警察に協力いただき、各団体の行事で防犯講話を実施しています。



▲青パト「まもるくん」出動

このように大勢の仲間といっしょに、吉浜地区から犯罪が少しでも減るよう、これからも継続して活動していきます。

## ◆都築さんの「こんなまちにしていきたいな」を教えてください!

高浜市は6月に防犯非常事態宣言が出され、現在も続いています。犯罪は防犯活動が手薄になると多くなる傾向があるようです。今は、熱心に取り組んでいる方の活動の効果もあって被害が減少していますが、1日も早く解除されることを願って、毎日が楽しく、みんな仲良く、安心して暮らしていけるまちをめざして、私たちも日々、活動に取り組んでいきたいと考えていますので、ぜひ皆さんのご協力をお願いします。



▲防犯啓発キャンペーン

## 特派員2期生 任期の最終年度を迎え… 吉浜まち協特派員からのメッセージ

■磯村順司チーフ 特派員として地域活動に携わり、交流を深め、地域の想いを感じる機会を得たことは、自分にとって大きな財産となったと感じています。吉浜地域の住民でもありますので、今後もまち協活動に関わっていきます。

■高橋貴博特派員 あっという間でとても充実した3年間。吉浜の皆さんとつながることができ、自分の気持ちの中で「僕らがお手伝いできることは何だろう?」から「僕らがすべきことは何だろう?」と大きく変化することができました。吉浜の皆さんが教えてくれた大きな財産です。

■中村彩特派員 実際に見て、聴いて、いっしょに活動して、地域のために頑張っている人がたくさんいること、吉浜の伝統・文化のすばらしさ、今まで気づけなかったよさを知ることができました。これからは一住民として、地域の盛りあげに貢献していきたいです。

■大八木優希特派員 まちづくりにとはとても多くの方の協力や思いがあることを、たくさんのイベントや活動をとおして実感しました。吉浜の皆さんと流した汗は私の貴重な財産です。これからも地域の一員として活動に関わっていきたいと思います。



▲左から磯村順司チーフ、大八木優希特派員、高橋貴博特派員、中村彩特派員

\*まち協特派員…行政職員の所属部署に関係なく、チーフ1名(管理職)を含む4名の特派員により、小学校区ごとにチームを編成し、まちづくり協議会の会合への出席や活動のサポートなどを行います。任期は3年。